

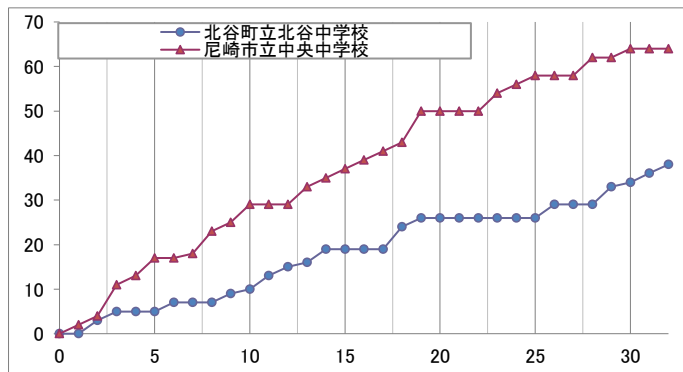


2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL

第47回全国中学校バスケットボール大会

大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	那覇市民体育館																
日時	2017年8月23日(水)	9:30															
コート	NAコート 第1試合																
カテゴリー	女子予選リーグIブロック																
主審	佐藤 良明 (秋田)																
副審	高菅 靖友 (山口)																
TEAM A		TEAM B															
北谷 (沖縄県)	38 ●	64 ○ 尼崎中央 (兵庫県)															
	<table border="1"> <tr><td>7</td><td>1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	7	1st	23	12	2nd	16	7	3rd	17	12	4th	8	-			
7	1st	23															
12	2nd	16															
7	3rd	17															
12	4th	8															
-																	

得点経過



BOXスコア

TEAM A		北谷町立北谷中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	源河 千早紀	DNF	0	0	0	0	0	
5	小渡 柚奈	×	10	2	1	2	1	
6	寺尾 杏 (CAP)	×	5	1	1	0	1	
7	横田 菜摘	/	4	0	1	2	1	
8	比嘉 琉愛	DNF	0	0	0	0	0	
9	佐久田 恋	×	13	0	6	1	4	
10	川上 日緑	×	0	0	0	0	1	
11	恩納 玲香	×	0	0	0	0	2	
12	門脇 桃香	DNF	0	0	0	0	0	
13	小橋川 帆菜	/	0	0	0	0	2	
14	池根 緋彩	DNF	0	0	0	0	0	
15	國場 萌花	DNF	0	0	0	0	0	
16	仲宗根 早紀	DNF	0	0	0	0	0	
17	仲泊 美佑	DNF	0	0	0	0	0	
18	屋良 美穂子	/	6	2	0	0	1	
コーチ	比嘉 学							
合計			38	5	9	5	13	

TEAM B		尼崎市立中央中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	橋本 美咲 (CAP)	×	4	0	2	0	1	
5	大村 愛子	×	6	0	3	0	1	
6	松田 夢実	/	5	1	1	0	1	
7	大崎 莉瑚	×	9	1	3	0	0	
8	中村 優葵乃	/	0	0	0	0	0	
9	浅井 海槻	×	12	0	6	0	4	
10	石原 妃葉	×	26	0	12	2	1	
11	松木 りん	/	0	0	0	0	0	
12	松元 寧々	/	0	0	0	0	0	
13	叶 瑠華	/	0	0	0	0	0	
14	秋山 凜	/	0	0	0	0	0	
15	石田 宝	/	2	0	1	0	1	
16	丸山 佳愛	DNF	0	0	0	0	0	
17	石井 樹李亜	DNF	0	0	0	0	0	
18	石井 小雪	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	松本 康久							
合計			64	2	28	2	9	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第47回全国大会第1試合は開催地枠での出場となった地元沖縄の北谷中学校と近畿大会を3位で突破してきた兵庫の尼崎中央との対戦となった。ゲーム開始序盤、どちらも1試合目の緊張から動きが堅く、一進一退の攻防が続く。先制点は、尼崎#9のミドルショットで得点。北谷も負けじと#5の3Pで入れ返すが、尼崎#10の連続得点などで点差を離しにかり、開始4分で北谷ベンチがたまたずタイムアウトを要求。タイムアウト後リズムを取り戻し、#9などのドライブで得点に成功。しかし1Q終了間際、尼崎#7の3Pで加点されて1Q終了。2Qも1Q同様尼崎はインサイドを起点に得点を狙う。北谷はアウトサイドプレイヤーのペネトレイトからの#7への合わせで得点を狙う。しかし尼崎の足を使ったDefの前に得点することができない。反対に尼崎は#10と#7のハイロープレーや#10のリバウンドからのショットでの得点が続く。北谷も#6の3Pで加点するが尼崎#10の前半だけで20得点の活躍などもあり、北谷19-39尼崎の20点差でゲームを折り返す。尼崎は後半立ち上がり#7が治療のためにベンチスタート、北谷も機動力を活かすためにスモールラインナップにし、オールコートマンツーマンでスタート。すると北谷の足が動き出し、#5の3Pとカットインからのバスケットカウントで得点。流れが北谷に傾きかける。しかし、大事なところでOffでのターンオーバーが出てしまい、流れは一転して尼崎へ。北谷もアウトサイドシュートで加点を狙うが、その後も尼崎#10のリバウンドからのアウトサイド陣の速攻などでリズム良く得点を繰り返す尼崎の背中を捉えることができず、北谷38-64尼崎でゲーム終了。どちらのチームも体をフルに使ったハードワークで1試合通して戦い続けた。最後まであきらめずに走りぬいた北谷と自分たちのスタイルを貫いた尼崎のすばらしいゲームだった。